笙と薩摩琵琶

中村華子×久保田晶子
デュオコンサート

2022年
10月4日[火]
16:30開演

会場
ムジカーザ

小田急線・地下鉄千代田線
「代々木上原駅」東口より
徒歩２分

BLUESHEET

プログラム

●薩摩琵琶ソロ

・『平家物語』より「祇園精舎」

●笙ソロ

・一柳慧作曲　星の輪 (1983)

●薩摩琵琶×笙

・伊左治直作曲　予言獣 (2021)

・高橋久美子作曲　見えるもの 見えないもの (2021)

久保田晶子（薩摩琵琶）Akiko Kubota

平家物語や軍記物などの古典曲はもちろん、童話や民話、落語を元に新作の語り作品の創作、自演、アニメ・テレビ音楽の録音、劇中音楽への参加、アンサンブルでの演奏など活動は多岐にわたる。武満徹作曲「ノヴェンバー・ステップス」「秋」のソリストとして海外のオーケストラとも共演。2019年琵琶楽コンクール第一位。文部科学大臣賞。日本音楽集団、和楽団 煌、谷中琵琶Style、アンサンブル室町に所属。

中村華子（笙）Hanako Nakamura

国立音楽大学音楽学学科卒業。笙を宮田まゆみ、多忠輝、楽琵琶を中村かほるの各氏に師事。平成18年度文化庁新進芸術家国内研修生。「伶楽舎」メンバーとして、また「雅楽三昧中村さんち」、笙のトリオ「Shogirls」などのユニット、邦楽器シリーズ「はなみやび」のプロデュースの他、ソロ活動も多数行う。モントリオールにおけるバレエ「輝夜姫」公演、韓国のEnsemble　TIMF、タイのマヒドン大学等から招かれ演奏し、海外にも笙の魅力を伝えている。https://hanakonakamura.b-sheet.jp/

笙

その形は翼を立てて休んでいる鳳凰の姿にたとえられ、響きは〝天から差し込む光〟と形容されるとても美しい楽器・笙(しょう)。千年前からある楽器ながら、現代の国内外の作曲家たちの創作意欲をかきたて、多くの新作も生まれています。日本を代表する作曲家・一柳慧は、早くから日本の伝統楽器に関心を寄せ、新作を発表し、世界に紹介してきました。笙独奏曲「星の輪」はもはや“古典”とも言うべき笙の名作です。ミクロにもマクロにも広がる宇宙を感じさせるような笙の響きは、多忙な毎日を送る私たち現代人に癒しを与え、また、想像や創造の感性を強く刺激してくれます。笙の中村華子と薩摩琵琶の久保田晶子、音楽家として尊敬しあうこの二人が、共演をきっかけに共同で委嘱したのが、本公演で演奏する伊左治直、高橋久美子の作品です。難しい組み合わせでありながら、各楽器の可能性を大いに広げる画期的な作品となりました。ぜひ生でお聴きください。

琵琶

ひとくちに「琵琶」(びわ)といっても、人それぞれイメージする楽器が違うほど、日本には何種類もの琵琶があります。楽琵琶、平家琵琶、薩摩琵琶、筑前琵琶などなど。琵琶はペルシャで生まれ、シルクロードを通って中国を経て、奈良時代に日本に伝わったと言われています。伝来した当時のままの形、大きさを保ち、雅楽で用いられているのが「楽琵琶」。楽琵琶の撥よりずっと大きな鋭い撥を使い、楽器を縦に構えて演奏する「薩摩琵琶」は、戦国時代に九州の島津藩の武士の間で愛好され、芸術音楽として成長しました。明治時代に全国に広まった「筑前琵琶」は、薩摩琵琶より小ぶりで柔らかな音色を持っています。また、琵琶というと、正倉院宝物の豪華絢爛な「螺鈿紫檀五絃琵琶(らでんしたんのごげんびわ)」を思い浮かべる方もいるでしょう。正倉院御物の音を聴くことはできませんが、楽琵琶と薩摩琵琶の実際の音色は、10月4日のムジカーザの２つのコンサートでお聴きいけだけます！

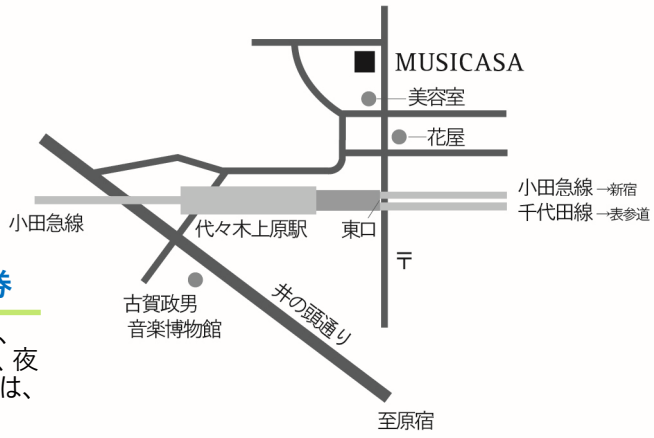
中村華子×久保田晶子デュオコンサート

2022年10月4日[火]　16:30開演（16:00開場）

会場：ムジカーザ
〒151-0066 東京都渋谷区西原3-33-1　Tel.03-5454-0054
小田急線・地下鉄千代田線「代々木上原駅」東口より徒歩２分

全自由席 3,000円 チケットぴあ https://t.pia.jp/ (Pコード223446)

主催：株式会社ブルーシート　https://b-sheet.jp/　お問合せ： info@b-sheet.jp　Tel.070-4123-4772



お得なセット券 5000円

楽琵琶と薩摩琵琶、二つの琵琶を楽しめるセット券

「笙と薩摩琵琶　中村華子×久保田晶子デュオコンサート」と、「中村かほる楽琵琶コンサート」（昼の部14:00開演、もしくは、夜の部19:00開演）の２つのコンサートをお聴きになれるセット券は、ブルーシートにメールでお申込み下さい。info@b-sheet.jp